

会 議 録 (要旨)

会 議 名	令和7年度第1回武蔵村山市まちづくり審議会
開催日時	令和7年12月25日(木) 午前10時30分から午前12時00分まで
開催場所	市役所4階 403会議室
出席者及び欠席者	出席者：米田秀男委員(会長)、波多野政俊委員(副会長)、宇野健一委員、関根孝委員、坂本安隆委員、原田妙子委員、豊泉光男委員 欠席者：日置雅晴委員 事務局：都市整備部長、都市計画課長、都市計画課係長(計画係)、同課係長(開発・住宅係)、同課主事(計画係)
議 題	1 会長及び副会長の互選について 2 会議の公開の可否について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	報告事項：武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針について 会議の公開に関する指針について、会議資料に基づき事務局から報告した。 議題1：会長及び副会長の互選について 武蔵村山市まちづくり条例施行規則第129条第1項の規定により、会長に米田委員を、副会長に波多野委員を選任した。 議題2：会議の公開の可否について 「武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針」に基づき会議の公開の可否について審議を行い、原則「公開」とすることに決定した。 その他1：事務局より「市のまちづくりについて」等について説明 その他2：事務局より「武蔵村山市まちづくり条例のあらまし」等について説明
審議経過	※委員の委嘱等 会議の開催に先立ち、委嘱書の交付、委員の紹介及び事務

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

(発言者)

○印=委

員●印=事

務局

局職員の紹介等を行った。

【事務局説明要旨】

- 会議資料に基づき、武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針について資料 2-1、2-2 をもとに報告

【質疑・意見等】

- 特になし

議題 1：会長及び副会長の互選について

【事務局説明要旨】

- 会長及び副会長の選任について、武蔵村山市まちづくり条例施行規則第 129 条第 1 項の規定により、委員の互選で決定する旨を説明

【質疑・意見等】

- 会長に米田委員を、副会長に波多野委員を推挙する意見あり
- 異議なし

議題 2：会議の公開の可否について

【事務局説明要旨】

- 資料 2-1 「武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針」、資料 2-2 「武蔵村山市まちづくり審議会の会議の公開に関する運営要領」に基づき、まちづくり審議会の会議の公開に関する内容について説明

【質疑・意見等】

- 原則「公開」とすることに異議なし

その他 1：市のまちづくりについて

【事務局説明要旨】

- 資料 3 「市のまちづくりについて」に基づき、市のまちづくりについて説明。

【質疑・意見等】

- DX や AI エージェントなど全体的にほとんど触れられてい

ないため、含めるべきだと考える。また、キャッチフレーズとして「駅を中心とした 歩いて暮らせるまちづくり」とあるが、少し弱いと感じる。最近のキーワードとしてサステナブルが挙げられるため、突き刺さるようなキーワードが欲しい。また、3番目の駅は駅前広場を設けることから、是非とも「武蔵村山」にしていきたい。

- デジタル技術の進展については、市でも波も捉えながら活用しているところではあるがインフラ面で AI の活用が進んでいないという現状であるが、国のほうでも技術開発が進んでいるため、そういったものも今後取り入れいきたいと考えている。キャッチフレーズについては武蔵村山市第二次まちづくり基本方針を策定した際のキャッチフレーズになっており、次回改定の際には時代に応じたキーワードを入れながら、市民の方でもよりわかりやすい目標にしていきたいと考える。また、駅名に関しては市が決定者ではないので、意見としてとらえておく。
- 将来像・方向性についてはオンリーワンを強調していく時代であるし、東京都はそれを求めている。次の改正の際には、武蔵村山だと言える方向性を入れてほしい。

その他 2：武蔵村山市まちづくり条例のあらましについて

【事務局説明要旨】

- 資料 4 「武蔵村山市まちづくり条例のあらまし」に基づき、武蔵村山市まちづくり条例の概要説明と実績について説明。

【質疑・意見等】

- 波多野委員が行っている 2 つのまちづくり準備会の活動における現状・課題についてお聞きしたい。
- 現状、狭山丘陵景観重点地区まちづくり準備会については、自然の魅力を住民のかたに再認識してもらえるような情報発信などの活動を行っている。

榎三丁目都市核地区まちづくり準備会は、今後拠点として形成されていくエリアであることから、地域のかたや来訪するかたにこのエリアに関心をもってもらえるよう、花を植えるなどの活動を行っている。また、生活道路として交通量や速度の調査なども行っている。

課題は、担い手不足とモチベーションの維持が挙げられる。

- 担い手不足というのは地権者や住民の方から理解が得られずメンバーが増えないということか。
- そのとおり。しかし、これに関しては我々のアピール不足というところもあるが、11月27日のモノレール着工の認可に関しては、非常に大きなインパクトを与えていると思うので、そこも踏まえて、まちの変化を楽しむという視点をアピールして人材の掘り起こしにトライしていかないといけないと感じている。
- 市としてどのようなインフラ整備を行っていくのかなど考えているのか今後の展開も含めて伺いたい。
- 現在、南北東西の都市計画道路については、暫定的な整備に留まっている。これから、地域の皆様の御意見を聴き、令和8年度以降にかけての歩道部分のカラー舗装についてアンケート調査を始めるところである。また、植樹についても市で作成した案に対するアンケート調査を同時に行う予定である。
- 準備会も存在しているため、連携してまちづくりが進められたらと感じる。
- 他に意見等はあるか。
- 武蔵村山には用途を決めず、開発を主としない、暫定的なエリアは存在しているのか。
- 多摩開墾のような開発・居住ができない区域はあるが、市街化区域の中で特別な用途の制限は設けていない。強いて言えば、立地適正化計画の中で伊奈平の工業地域は居住誘導区域から外したり、狭山丘陵の麓辺りは一部居住誘導区域から外したり、なるべく中に入るようメッセージを出している。また、地区計画の区域の中で制限をかかっているところはあるが、それ以外に関しては特に設けていないというのが現状である。
- 質問の意図としては、今後、市民や行政職員がその時代に合わせた新しい価値を見出せる遊びのエリアがあれば、武蔵村山独自のものが作れるのではと考えた。
- 市が持っている土地があり、自由に使える土地が残っていれば検討する余地はあるが、9割以上は民間が所有しているため、あまり強烈な網をかけるのは難しいというのが現状で

	<p>ある。なので、まちづくり審議会を通じてどういうまちづくりをしていくべきなのかを検討していきたい。</p> <p>○ 武蔵村山市のまちの方向性はあまりないように感じる。市の課題を大学と解決する産学連携を検討すればよいと考える。特に、都立大学に関しては都市工学やまちづくりの専門的な知恵を借りられたり、私大と比べて費用も安く済む。スキームを作ることになれば助成金も貰えやすい。是非とも検討していただきたい。</p> <p>○ まちづくりは継続しないと成り立たない。国分寺では26市で初めてUDCができています。1つの学識やアカデミアが継続的に関わることはとても大切であるため、UDCや産学連携などを今にでも始めていただきたい。</p> <p>● 会議録案の確認方法及び今後の審議会の予定等について報告</p>
--	---

会議 の 公 開 ・ 非 公 開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者：0人
---	---	--------

会議録 の開示・ 非開示 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
--------------------------	---

庶務担当 課	都市整備部都市計画課 (内線274)
-----------	--------------------